

おだにきて

泊まつて

食べて



大田市肉「ゲストハウス」特集

新たな交流が誕生する地域の中心拠点に。

大田市ゲストハウス雪見院 大田町

大田町に市内初のカプセルホテルが1月15日オープンしました。安価に泊まれることが特徴です。32床のドミトリ（カプセルベッド）があり、男女混合フロアと女性専用フロアに分かれています。

昨年、12月28日には内覧会があり、多くの関係者や地域住民が訪れました。地域の期待も高まっていることが伺えます。建物に入ってからすぐのところには交流スペースを設けており、宿泊者同士でコミュニケーションをとることが可能です。また、無料WiFiも利用できるため、出張やビジネスシーンでも利用できます。



雪見院を運営するのは株式会社シグマの高橋泰子さんです。雪見院だけではなく、親子でグループホーム七色館と、NPO法人緑と水の連絡会議の運営も手掛ける女性実業家です。この雪見院をオープンしたのは様々な方の活動拠点となるため。NPOでの国際交流から生まれた繋がりを、更に育んで生きたいという強い思いを持っています。最終的には、大田のファンになったり、再び大田に来てくれるリピーターになってもらうことを理想としています。



【予約・お問合せ先】インターネットから予約可
大田市大田町大田1378-14 TEL:0854-86-7100

で、高校生が市内飲食店6店舗に協力を依頼し、オリジナルの英語版メニューを作成。協力をもらった飲食店に配布しました。分かりやすい英語表記とメニュー写真にお店に食べに行ってみたいと言う気持ちも高まります。メニューは多くの外国人にも見ってもらえるよう、雪見院にも設置されました。

学生から大人といった幅広い層や、外国人も巻き込んだ新しい人の流れが出来そうです。今度も雪見院から目が離せません！

ゆつくり、ひっそり。大人の楽園。

HISOM 温泉津町

小さな湾に面した、温泉津町日祖地区にある民泊施設「HISOM(ヒソム)」をご存知でしょうか。築100年近い古民家をリノベーションし、北欧のライフスタイルをイメージした雰囲気を作り出しています。HISOMという名称は「日祖地区」と、「都会の忙しさを忘れて、ゆつくり、ひっそり過ごす」をかけたもので、まさに「ひそむ」という思いが込められています。

代表を務めるのは「ゆのつ民泊・体験事業協議会」の近江雅子さんです。江津市の出身の近江さんは、県外へ進学をされ、東京で就職・結婚をされました。島根にUターンする決心をして、大田市温泉津町に移住。何気なく町を散策している時に日祖の湾にひとめぼれ。その素晴らしいさに大きな感銘を受けた。この地で何か出来るはず！ここはきっと大人の楽園になる！と思いを募らせました。



たどり着いた答えは、「ゆつくり、ひっそりと暮らす」と言うライフスタイルに価値を見出し、宿の名前にもなっているHISOMのブランド化でした。多くの方の協力を得て、日祖発の新たなスローライフを世界に発信しています。手始めに英語版写真集を作成し、訪日客や観光業者に向けてPRを行いました。

昨年の12月にフィンランドから陶芸家アンナカイサ・ハアンアホさん、料理人マルクス・アレモさんの2名を招き、HISOMを拠点にして、創作活動を通じた異文化交流を行いました。お二人とも日本文化に触れ多くの刺激を受けました。

近江さんは芸術家の創作活動の場にもなると考えています。何もないからこそ、新たな発見がある。ありのままの自然環境に囲まれてインスピレーションが湧いてくる。訪れた者は何かを得られる場所になると予見しています。



2020年3月25日〜3月30日に島根県立美術館で写真家エドワード・ヘイムス氏によるHISOM写真展が開催されます。日本の昔ながらの暮らし方に「北欧の世界観」が合わさり、新たな文化が誕生しました。日祖のエレメントを感じられる写真展となっております。ぜひ会場へお越しください。

【予約・お問合せ先】インターネット(Airbnb)から予約可
大田市温泉津町温泉津588-1 TEL:090-7507-6558(近江)